

交通事業

平成25年度下半期の事業概要

事業の概要

交通事業を取り巻く環境は、少子化等により長期的に乗客数が減少傾向にあることに加え、軽油価格が高止まりしているなど、引き続き厳しい経営環境となっております。

こうした中、平成24年12月に平成25年度から29年度までを計画期間とする新たな中期経営計画を策定し、経営健全化策に取り組んで参りましたが、平成24年度の交通事業会計決算と計画における収支見通しに乖離が生じるとともに、現計画策定以降、経営環境は大きく変化していることから、計画の前倒し実施や、さらなる経営健全化策を追加するなど、平成26年3月に計画の見直しを行ったところです。

今期においては、貸切事業の強化による効果、消費税率引き上げ前の駆け込み需要等により運輸収入は増収となったものの、軽油価格の高止まりなどによる軽油費の増など費用が前年度と比べ大幅に上回りました。

この結果、平成25年度の決算においては、総収入52億9,068万円に対し、総費用54億5,984万円となり、1億6,916万円の純損失を計上することとなる見込みです(金額は消費税及び地方消費税抜き)。

業務状況

(ア) 車両

今期末の在籍車両は、401両です。

(イ) 輸送

a 免許キロ

今期末の総免許キロは1,413.67kmで、前年度同期と比較して598.9kmの減となりました。

b 走行キロ

今期の総走行キロは962万8,085km(乗合800万9,537km、貸切161万8,548km)で、前年度同期と比較して1.6%の減となり、実働1日1車当たり総走行キロは173kmとなりました。

c 輸送人員

今期の輸送人員は775万3,403人(乗合748万5,413人、貸切26万7,990人)で、前年度同期と比較して0.8%の減で、実働1日1車当たりの人員は139人となりました。

経理の状況

経理の状況は、およそ次の表のとおりになる見込みです。なお、予算と対比して、その執行状況を明らかにするため、本表の金額は消費税及び地方消費税込みとなっております。

また、本表における収益的収入から支出を差し引いた収支見込額と純利益見込額との差については、資本的収支における消費税及び地方消費税の精算分が収益的収支に含まれることなどによるものです。

平成 25 年度 予算 執行 状況

(1) 収益的収入及び支出

(収入)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 見 込 額
事業収益	5,516,779	5,516,785
営業収益	4,760,236	4,760,240
営業外収益	756,435	756,437
特別利益	108	108

本表の金額は消費税及び地方消費税込みとなっています。

(支出)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 見 込 額
事業費用	5,667,465	5,667,408
営業費用	5,424,380	5,424,326
営業外費用	239,515	239,513
特別損失	3,570	3,569

本表の金額は消費税及び地方消費税込みとなっています。

(2) 資本的収入及び支出

(収入)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 見 込 額
資本的収入	414,917	394,919
企業債	320,000	300,000
他会計借入金	91,000	91,000
建設補助金	1,211	1,211
固定資産売却代金	1,860	1,861
投資返還金	846	847

本表の金額は消費税及び地方消費税込みとなっています。

(支出)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 見 込 額
資本的支出	875,769	854,778
建設改良費	328,337	307,347
企業債償還金	443,437	443,436
他会計借入金償還金	11,400	11,400
退職給与金	91,604	91,604
投資	1,156	1,156

本表の金額は消費税及び地方消費税込みとなっています。なお、退職給与金については、毎年度の収益的収支への影響の平準化等を図るため、各年度において見込まれる平均的な退職者数については収益的支出で支出し、これを超える退職者がある場合は資本的支出で支出し繰延処理を行うこととしています。